

環境学委員会（第 26 期・第 5 回）議事要旨

日時：第 1 日 令和 6 年 4 月 23 日（火）12:00-13:00

第 2 日 令和 6 年 4 月 24 日（水）10:00-12:00

会場 第 1 日 日本学術会議 6-C（3） 会議室

第 2 日 日本学術会議 6-C（1） 会議室

第 1 日出席者 （現地）森口、島村、大越、小口、下田

（オンライン）馬奈木、池邊、鈴木

（オンライン）（オブザーバー）豊田、中村、春日、浅見

第 2 日出席者 （現地）森口、大久保、島村、鈴木、（オブザーバー）春日

（オンライン）大塚、池邊、大越、村山、小口、北川、三枝

（オンライン）豊田、中村（オブザーバー）

（1）環境学委員会への委員追加について

豊田連携会員、中村連携会員、春日連携会員、浅見連携会員の委員追加について承認された。

（2）環境学委員会、分科会の活動報告

第 1 日には、カーボンニュートラル都市分科会（下田委員長）、FE・WCRP 合同分科会（春日委員長）、環境思想・環境教育分科会（豊田委員長）、環境リスク分科会（中村委員長）、自然環境分科会（池邊委員長）について活動状況が報告された。

第 2 日には、FE・WCRP 合同分科会（春日委員長）、環境政策・環境計画分科会（大塚委員長）、環境科学・環境工学分科会（北川委員長）、自然環境分科会（池邊委員長）、環境リスク分科会（中村委員長）、環境思想・環境教育分科会（豊田委員長）について活動状況が報告された。また、環境学委員会以外の委員会が主管の分科会の活動概要、それらを含めた第三部部会への報告について環境学委委員長から紹介された。

加えて、カーボンニュートラル（CN）、ネイチャーポジティブ（NP）に関する課題別委員会の設置検討中であることが紹介された。CN については、連絡会議が 25 期に設置されていたが、意思の表出には至っておらず、CN、CE（サーキュラーエコノミー）、NP に関する意思の表出を目指した意見交換がなされていること、環境学委員会にも逐次報告する予定であることが紹介された。

さらに三枝委員、春日委員から、Human dimension についても分科会が設置される見込みとの説明がなされた。

（3）公開行事、意思の表出等の今後の活動について

前期（第 25 期）に開催した学術フォーラムについて浅見委員より紹介があった。

(4) その他

三枝委員（副会長）から、科学者委員会の下で、科学技術イノベーション基本計画へのインプットのために、意思の表出を目指しており、そこで CN や NP にも言及される見込みとの情報提供があった）。